

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成27年3月13日(金)		開 議	午後1時00分
			閉 議	午後3時55分
出席委員	石野 田中 三上 小川 奥野 山本 木曾 堤			
執行機関出席者	桂政策推進室長、竹村政策推進課長、柏尾政策推進課担当課長、加藤政策推進課主幹、岸企画管理部長、山本夢ビジョン推進課長、片山人事課長、垣見夢ビジョン推進課副課長、俣野生涯学習部長、吉田市民協働課長、桂人権啓発課長、福田市民協働課市民活動推進係長、門総務部長、木村総務部税・財政担当部長、石田総務課長、栗林自治防災課長、畑中自治防災課主幹、吉田税務課長、田中自治防災課副課長、湯浅自治防災課消防係長、岩崎財政課予算係長、中川会計管理室長、山田会計課副課長、山口会計課管財係長、木曾教育部長、川勝教育部次長、河原教育総務課長、林教育総務課副課長、樋口社会教育課長			
事務局		藤村局長、山内次長		
傍聴	同・否	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

13:00

1 開議

2 事務局日程説明

3 議案審査

13:05～

【政策推進室】

(1)第61号議案 平成26年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

(2)第66号議案 平成26年度亀岡市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)

政策推進室長 あいさつ・出席職員紹介

政策推進課長 説明

質疑

(第61号議案関係)

<田中副委員長>

P57、大規模スポーツ施設関連事業経費の建設事業関係委託料で、地下水調査の減額がされているが、これに関わって、京都府の環境保全会議の具体的な内容について説明願いたい。

<政策推進室長>

京都亀岡保津川公園の中に京都スタジアムを建設していくということで、天然記念物アユモドキが生息しているエリアに、事業のエリアをもっていくことになったので、京都府と亀岡市で、大学の生態学・魚類学・水路土木等の関係の先生10名による環境保全専門家会議を設立し、平成25年5月から平成27年3月の約2年間に渡って

16回の会議を開催した。この地域でのアユモドキの生態状況や、これから保全していくための方策に係る実証実験については環境政策課で担当し、用地の買収・確保、及び環境保全専門家会議の事務局的な部分については、政策推進課で担当している。

アユモドキの実態把握にあたって、湧水調査のための試験井戸、観測井を11本打っていて、そのうち5本分が亀岡市の担当となっている。この観測井の調査項目の精査により、管理経費が節減できたものを、今回、減額するものである。

環境保全専門家会議の動向については、2年間の成果として、アユモドキの生態等の基礎資料が整ってきたので、今後の方向性をこの年度でまとめていくという状況にある。

<木曽委員>

P31、バス交通関連経費の補助金減額の理由は。

P19、市有地を山口マタニティクリニックに売却したということだが、売却の単価は。

<政策推進課担当課長>

当初予算と実績の差額を減額するものだが、具体的には、収入が当初の見込みより100万円伸びている一方で、費用については、人件費、燃料費、間接経費を含め約830万円の減額となったことにより、今回、933万4千円の補助金減額をするものである。

山口マタニティクリニックに対しては、当初、すべての土地を売却する予定であったが、資金繰りの関係で、一部の土地については、当面の間、借地としていた。開業から5年が経過する中で、今回、金額的に合意ができたことにより売却するものである。単価は㎡当たり8万5千円、売却金額は322.48㎡で2741万800円であるが、普通財産として売却しているので、この収入は会計課の所管となる。

(第66号議案関係)

<堤委員>

未買収の土地の3名について、契約できてない具体的な理由は。

<政策推進室長>

1名は京都市の所有者で、買収金額が財産取得時より安いということで、代替地も含めて協議中であるが難航しており、一定、決断の時期かと考えている。

また、別の1名は所有者が入院されていて意思確認ができない状況だが、現在、娘さんと話をしており、今後、話を詰めていきたいと考えている。

もう1名は地元の方で、昨年の実証実験の際に、こちらが迷惑をかけてしまった方だが、今はご理解いただいているので、3月末には話ができるものと思っている。

これらの土地について、平成27年度内には買収を済ませていきたいと考えている。

<堤委員>

当初は平成26年中に買収ということであったが、それが今は平成27年度中ということになっている。建設工事も迫っている中で、法的な措置も検討されているのか。

<政策推進室長>

建設工事に入る時期は確定しているので、今、決断の時期と考えており、市長、副市長とも相談しながら対応していきたい。

<木曽委員>

用地買収については、法的な措置も含めて進めていかなければいけないと思うが、その前提として、京都府がなぜ平成27年度の予算に設計費を計上していないのか。京都府との意思疎通がきちり図られているのか。

< 政策推進室長 >

昨年 12 月の予算要望の段階では、2 億 1 3 0 0 万円が文化環境部から要望が出されていたが、当初予算では 1 2 0 0 万円ということで、約 2 億円が減額されている。府としては環境保全専門家会議の了解を得て、補正予算で実施設計を上げていく考えで、平成 27 年度中に実施設計を完了させ、平成 28 年度からの事業着手ということで進めてもらっている。

< 木曽委員 >

実施設計については、3 月末段階でわかるものか、公表されるのか。

< 政策推進室長 >

基本設計が終わった段階で実施設計、構想が出てくると考えている。補正は 6 月補正で思っている。4 月、5 月段階で府の設計内容、基本的な方針については、公表されるものと思っている。

< 木曽委員 >

6 月補正でやってもらえるということでよい。

< 政策推進室長 >

その内容でいきたいという思いはあるが、市と府の中で確約されたスケジュールではない。

< 木曽委員 >

府に対してしっかりと進めてもらうように強く要望すべきである。6 月がタイムリミットと思うがどうか。

< 政策推進室長 >

全体のスケジュールを考えると、その時期がエンドだと思うので、その思いで我々も進んでいくし、府も動いていただけたらと思う。

< 木曽委員 >

強い決意をもってやっていただきたい。(要望)

13:55 ~

【企画管理部】

(1) 第 61 号議案 平成 26 年度亀岡市一般会計補正予算(第 5 号)

企画管理部長 あいさつ

出席職員自己紹介

各課長 説明

質疑

< 田中副委員長 >

P 25、緊急支援事業について生活支援型と先行型があるが、生活支援型でよい。

< 夢ビジョン推進課長 >

そのとおりである。

< 田中副委員長 >

当該業務委託については、総合計画の前期基本計画を委託した業者と随意契約をされる予定か。

< 夢ビジョン推進課長 >

そちらと整合性を図りながら進めるということで、その予定である。

14:05～

【生涯学習部】

(1)第61号議案 平成26年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

生涯学習部長 あいさつ

出席職員自己紹介

各課長 説明

質疑

<田中副委員長>

P19、地方改善施設整備事業債の減額の対象はどこか。

<人権啓発課長>

東部文化センターの大規模改修である。

<木曽委員>

P11、地域振興事業費補助金の減額の内容は。

<人権啓発課長>

P9の「がんばる地域交付金」もP11の地域振興事業費補助金についても東部文化センターに係るものである。

<木曽委員>

財源の組み替えによる減額ということか。全体的な説明を願う。

<人権啓発課長>

東部文化センターに関しては、当初予算で組んでいなかった国庫補助金、「がんばる地域交付金」8647万6千円をもらうことになったことにより、予算の組み替えを行ったものであり、府補助金1237万5千円、市債5550万円、一般財源1860万1千円をそれぞれ減額するものである。

14:20～

【総務部】

(1)第61号議案 平成26年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

総務部長 あいさつ

出席職員自己紹介

各課長 説明

質疑

<田中副委員長>

P61、災害対策経費減の内訳は。

<自治防災課長>

雨水抑制対策整備計画の策定業務委託料300万円を予算計上していたが、32万9千円を流用し、差引き267万1千円を減額するものである。

<田中副委員長>

雨水抑制対策の業務委託は、する必要がなくなったということか。

<自治防災課長>

平成24年7月15日の亀岡・京都豪雨で市街地の中心部で床上、床下浸水が発生

したことから、平成25年度に雑水川右岸・左岸を対象に雨水抑制対策の調査業務を委託した。その結果を受けて、平成26年度にその整備計画を策定すべく予算計上したが、様々な検討や庁内会議での決定事項を踏まえる中で、平成26年度における雨水抑制対策整備計画策定業務委託を見送ることとなったものである。

<木曽委員>

P23、庁舎管理と電算管理と地域イントラネット管理経費について、精算による減額ということだが、金額が大きいこともあり、当初の見込みがどうであったのか。

<総務課長>

当初は適正に見積もって予算編成を行っているが、入札による減額が主な要因である。

<木曽委員>

電算管理経費の委託料については減額が大きい、その要因は何か。

<総務部長>

電算システムの共同化に関して、国の示す内容の遅れにより、発注業務の内容量に差異が生じて減額となっているものも多数含まれている。

<木曽委員>

大きい金額の減額でもあるので、きっちり内容を説明してもらうよう要望しておく。

<総務部長>

以後、気をつけたい。

(1)第69号議案～78号議案 平成26年度亀岡市亀岡財産区特別会計補正予算
(第2号)他9財産区特別会計補正予算

自治防災課長 説明

質疑

<田中副委員長>

篠財産区の歳入で、分収造林受託事業収入の減額の理由は。

<自治防災課長>

分収造林をお願いしている森林公社からの受託収入が減って、委託料も減ったということである。

<田中副委員長>

今後の見込みはどうか。

<自治防災課長>

今のところ計画変更等の連絡は入っていない。

(休 憩)

15:04～15:13

15:13～

【会計管理室】

(1)第61号議案 平成26年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

会計管理室長 あいさつ、出席職員紹介、説明

質疑

<木曾委員>

歳入の補正の根拠をもう一度明確に願う。

<会計管理室長>

東つつじヶ丘の市営住宅の跡地は、事業の代替地の関係もあり、今年度売却できずに、来年度に回すこととなったが、公民館跡地と都市公園の部分は売却ができて、約1億3000万円収入を得ている。その他にも普通財産の売却があり、それらを合わせて2億4963万7千円の収入があったので、今回、予算との差額を補正するものである。

<木曾委員>

東つつじヶ丘の市営住宅の売却はできていないのであり、そのことを説明するとややこしくなる。自治会の持っていた土地と他の不動産を売却してその金額になったということか。

<会計管理室長>

売却した金額は、都市公園と公民館跡地と他の財産の売却の合計が売却金額となっている。市営住宅の跡地は売却できていない。

<木曾委員>

市営住宅跡地を売却できていたら、今回、補正で減額する金額になるという理解でよいのか。

<会計管理室長>

減額の大きな要因は、市営住宅跡地が売却できなかったということである。

<木曾委員>

東つつじヶ丘都市公園等の土地の、売却の㎡単価と売却先は。

<会計管理室長>

売却の㎡単価が60,700円、売却先は三煌産業である。

<堤委員>

入札方式で売却されたのか。

<会計管理室長>

入札を実施した。2社での競争入札であった。

15:30～

【教育委員会】

(1)第61号議案 平成26年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

教育部長 あいさつ

各課長 説明

質疑

<堤委員>

国分寺に係る公有財産購入費の減額について、計画ではあと何筆購入しようとしているのか。また、どういった形の公園に整備していこうとしているのか、その青写真はあるか。

<社会教育課長>

残りは、4,154.34㎡で、筆数にして5筆となる。その土地は相続登記がで

きていないこと、また史跡整備の周辺部分にあたるので特に支障がないことから、今後、状況が整った段階で購入していきたいと考えている。年間約500万円の整備経費を計上しているが、周辺のは場整備も終了しているので、これから本格的に整備していきたい。今年度は回廊部分の表示や、説明板の設置を行ったところであるが、今後も意欲的に整備を進めていきたい。

<木曾委員>

P63、教育委員報酬の減額について、井上昌啓氏が辞められたことを今はじめて報告を受けたように思うが、今までに報告していただいていたか。

<教育総務課長>

井上委員は平成26年9月30日に体調を崩されて辞任されたが、そのことは議会事務局に文書を送付し、報告もさせていただいている。

15:47

4 討論～採決

委員間討議 なし

討論 なし

採決

<石野委員長>

賛成者は挙手願う。

第61号議案（一般会計補正予算）	挙手全員	可決
第66号議案（土地取得事業特別補正予算）	挙手全員	可決
第69号議案～第78議案（10財産区特別会計補正予算）	挙手全員	可決

指摘要望事項

<石野委員長>

指摘要望事項はあるか。

<木曾委員>

大規模スポーツ施設に係る用地について、速やかに購入されることを指摘要望としたい。

<田中副委員長>

その指摘要望には反対である。

<石野委員長>

委員会として意見が一致しなかったので、指摘要望はなしとする。

5 その他

（1）他都市先進地行政視察について

次回、3月16日（月）の常任委員会で協議することとする。

15:55 閉議